

王将フードサービス (コード 9936・大証1部)

業績推移(連結)

(予想数値は会社発表分。単位・百万円、%、円)

決算期	売上高		経常利益		一株当たり		配当性向	売上高 経常利益率
		伸び率		伸び率	純利益	配当		
09.3	54,986	+10.5	6,190	+17.9	147.3	40.0	27.2	11.3
10.3	67,287	+22.4	10,926	+76.5	242.5	50.0	20.6	16.2
11.3(予)	71,583	+6.4	11,206	+2.6	293.6	50.0	17.0	15.7

ギョウザを中核とする大衆中華料理店チェーン

特色...「ギョウザ」をメニューの中核に据えた大衆中華料理店チェーンで、幅広い顧客層を獲得できる“中華”業態、高いリピート率と多様な立地で出店可能な“日常食”業態であることが強み。10年3月末現在の店舗数は555店(直営、FC合計。中国大連6店を含む)で、このうち約60%(319店)が関西地区で占められている一方、関西地区以外への出店も関東地区を中心に順調に拡大している。

既存店好調やメディア効果で10年3月期は増収増益に

既存店売上高が18.5%増...創業以来こだわっている「個店経営」に加え、10年前から積極的に推進してきた“店格”向上のための施策によって店舗の質が上がってきたところに、2008年7月以降にテレビ、雑誌、新聞などのメディアでたびたび取り上げられることによって新規顧客が増加し、着実にリピーター化が進展。10年3月期の売上高は09年3月期比22.4%増で、7期連続の増収となった。増収効果や材料費低下などで新規出店に伴う人件費などの増加を吸収し、営業利益(107億4,100万円)は同76.4%増。経常利益についても同76.5%増で、営業利益、経常利益とも同社初の100億円台乗せに。連結ベースでの新規出店数は34(うち直営21、FC13)、退店数は7(直営2、FC5)で、期末の店舗数(555店)は09年3月期末比で27店の純増となった。また、新規出店並みの投資による既存店改装を積極的に実施し、直営店ベースの既存店売上高は同18.5%増、既存店客数も同19.4%増と、外食業界全体が苦戦する中で同社は好調に推移した。

11年3月期も過去最高業績更新が続く見込み

引き続き過去最高業績へ...11年3月期は、売上高が8期連続増、経常利益は10期連続増の見込みで、前期に続いて過去最高業績を更新しそう。投資効率や販売促進活動の有効性を十分に検討し、既存店の活性化を図りつつ、新店効果も加えて業績拡大を目指す。また、地域に“なくてはならない店”でありつづけるため、「個店経営」へのこだわりと“店格”向上への施策を引き続き実施していく方針。通期の新規出店(国内)は31店(うち直営24店、FC7店)、退店2店を計画しており、中国大連を含めた11年3月期末の店舗数は584店(10年3月期末比29店の純増)の見通し。年間配当は50円を予定している。

11年4~5月の既存店売上高は4.4%増...会社側では今期の既存店売上高(直営店ベース)を前期比1.4%増と想定。月次での既存店売上高(直営店ベース)は、4月:6.3%増、5月:2.6%増。4~5月を通じてでは前年同期比4.4%増と堅調に推移している。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。